

親和アートギャラリー
春季企画展

花を描く

2020.3.5(木) ▶ 5.30(土)

現在、親和アートギャラリーでは、季節展示室・絵画展示室1に於いて春季企画展「花を描く」を開催しています。

花は洋の東西を問わず、古くから画家たちを魅了してきたモチーフの一つです。本展では、日展や一水会展などを中心に活躍した田中春弥の油彩画「明朝壺の鉄線蓮」を始め、長崎県佐世保市ゆかりの北村綱義、島内きみ、松崎良太らのパステル画、油彩画、日本画など全9作品をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。



明朝壺の鉄線蓮
作者：田中 春弥
1914～2010年

福岡県八女市に生まれ、熊本県人吉市で育つ。川端画学校を経て東京美術学校(現・東京藝術大学)卒業。安井曾太郎、田崎廣助に師事。メキシコの遺跡、人物、静物などを描いた作品で知られる。後年はアトリエを構えた長野や郷里の熊本の自然を描いた。一水会運営委員、日展参与。

親和アートギャラリー

鑑賞無料

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日：日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 親和銀行島瀬ビル1F 島瀬バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分 TEL.0956-23-4856

